



— 統計データ利活用促進及び地域農林水産統計データ分析を目的に発行 —

「青森県のりんご」

今号は、農林水産省が実施している「作物統計調査」、「青果物卸売市場調査」などの調査結果から、収穫量が全国1位の「青森県のりんご」をクローズアップしてお届けしますので、地域農業の推進にご活用ください。



結果樹面積、収穫量とも全国第1位、全国の約6割を占める

令和7年産の結果樹面積※は、1万8,300haで、前年産に比べ800ha（4%）減少しています。

10a当たり収量は、1,920kgで、前年産を20kg（1%）下回っています。

また、収穫量は35万1,400t、出荷量は32万4,000tで、前年産に比べそれぞれ1万9,100t（5%）、1万4,000t（4%）減少しています。

全国の結果樹面積、収穫量、出荷量に占める青森県の割合は約6割となっています（表）。

※ 結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が当該年産の果実を収穫するために結果させた面積。

ここ10年間の生産動向をみると、結果樹面積は、生産者の高齢化や後継者不足に伴い、減少傾向で推移し、平成28年産の1万9,900haに比べ、1,600ha（8%）減少しています。

また、収穫量、出荷量は、結果樹面積の減少に伴い、平成28年産に比べそれぞれ9万6,400t（22%）、8万2,300t（20%）減少しています。（図1）。

「果樹生産出荷統計」について

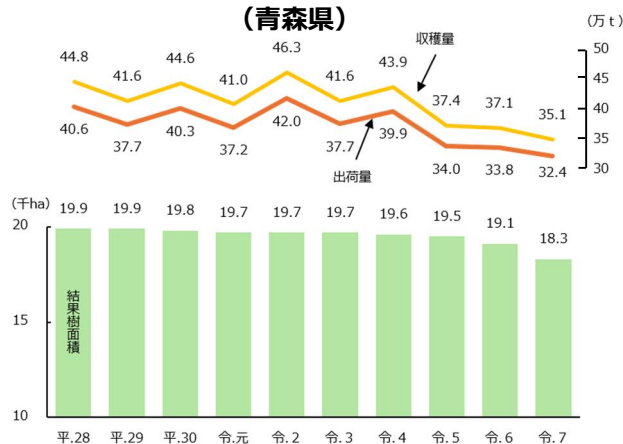
果樹生産出荷統計の令和7年産（概数値）は、周期年で実施した全国調査（令和2年）の栽培面積において、おおむね8割を占めるまでの上位都道府県を調査の範囲とし、その範囲に該当しない都道府県であっても、果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としており、全国値については主産県の調査結果を基に推計したものです。

表 令和7年産 りんごの収穫量上位6県（全国）

	結果樹面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t
全 国	32,500	1,780	577,400	529,700
青森	18,300	1,920	351,400	324,000
長野	6,410	1,660	106,400	99,000
岩手	2,000	1,540	30,800	26,600
山形	1,880	1,620	30,500	27,400
福島	1,040	1,640	17,100	15,000
秋田	1,070	1,560	16,700	15,600

資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」をもとに東北農政局青森県拠点が作成（以下、図1も同じ）。

図1 りんごの結果樹面積・収穫量及び出荷量の推移（青森県）

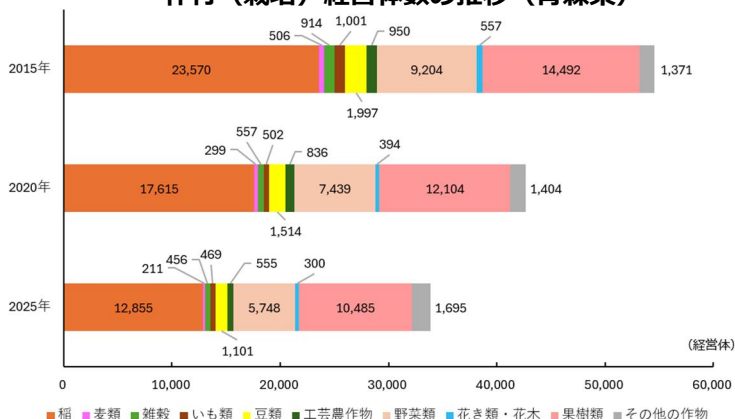


2025年農林業センサスの果樹類の栽培 経営体数は10年前に比べ28%減少

青森県において「販売目的で果樹類を栽培した経営体数」をみると、2025年は10,485経営体で、10年前に比べ4,007経営体（28%）減少しています（このうちりんごは、9,843経営体で、3,914経営体（28%）減少）。

前述のりんご結果樹面積では、平成28年から1,600ha（8%）減少していますが、経営体数に比べ面積の減少割合が低いことから、現在の経営体が規模拡大を図っていることにより、県内の面積の減少を抑えていると考えられます（図2）。

図2 販売目的で作付け（栽培）した作物の類別
作付（栽培）経営体数の推移（青森県）



資料：農林水産省「2025年農林業センサス」をもとに東北農政局青森県拠点が作成。

青果物卸売市場調査結果について

令和6年青果物卸売市場調査から青森県産りんごの主要消費地域別の卸売数量をみると、東京都が最も多く全体の35%を占めています。次いで大阪府、名古屋市、福岡市、京都市、横浜市、広島市、神戸市、札幌市の順となっており、全国各地で青森県産のりんごが消費者に届けられています。

また、10年前に比べて大阪府、福岡市の割合が増加しており、流通技術の進歩が要因として考えられます（図3）。

図3 青森県産りんごの主要消費地域別卸売数量の構成（平成26年）



（令和6年）



資料：農林水産省「青果物卸売市場調査報告（産地別）」をもとに東北農政局青森県拠点が作成。

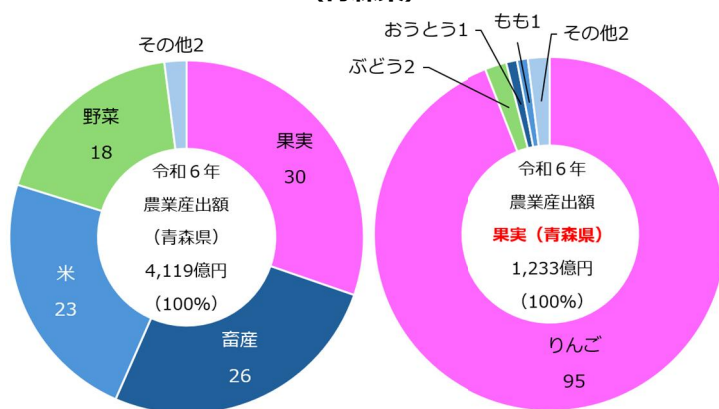
りんごの令和6年農業産出額について

令和6年青森県の農業産出額4,119億円の前年に比べ653億円（19%）の増加となっています。うち果実の農業産出額は1,233億円の前年に比べ137億円（13%）増加し、全体の30%を占めています。

また、りんごの農業産出額は1,171億円の前年に比べ138億円（13%）増加し、果実の95%を占めています（図4）。

りんごの令和6年市町村別農業産出額（推計）をみると、弘前市が514億7,000万円、次いで平川市（金額非公表）、板柳町が94億8,000万円、黒石市が78億7,000万円、鶴田町が67億3,000万円となっています（図5）。

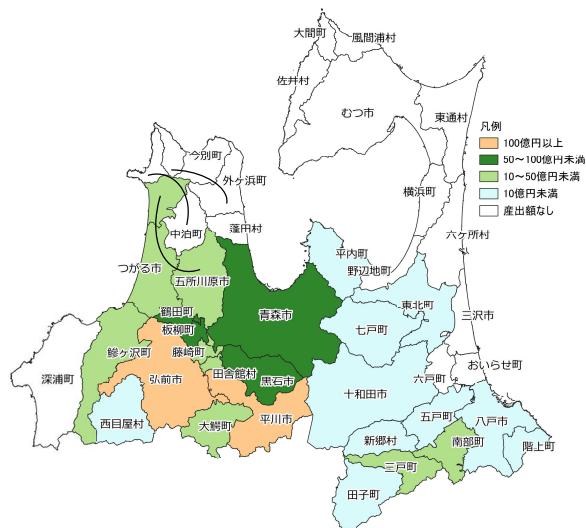
図4 農業産出額に占める果実、果実に占めるりんごの割合（青森県）



資料：農林水産省「農業産出額及び生産農業所得（都道府県別推計）」をもとに東北農政局青森県拠点が作成。

注：統計値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

図5 りんごの市町村別農業産出額（令和6年）



資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」をもとに東北農政局青森県拠点が作成。



まふナビへはこちらから↓



農林水産統計データ等活用支援やデータの照会等お気軽にご相談ください。

問い合わせ先：東北農政局青森県拠点 分析担当

青森市長島一丁目3-25（青森法務総合庁舎4F） 電話：017-775-2151